平成21年10月期 第3四半期決算短信

平成21年9月4日

上場会社名　株式会社 神戸物産　　上場取引所　大
コード番号　3038　URL　http://www.kobebussan.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役会長兼社長　（氏名）沼田　昭二
問合せ先責任者（役職名）STB部門　IR担当　（氏名）柴田　康裕　TEL 079-496-6610

四半期報告書提出予定日　平成21年9月14日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年10月期第3四半期の連結業績（平成20年11月1日～平成21年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第3四半期	93,861	―	320	―	213	―	86	―
20年10月期第3四半期	76,734	6.3	673	△40.1	656	△48.8	354	△54.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第3四半期	10.73	―
20年10月期第3四半期	43.74	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第3四半期	31,152	12,266	39.4	1,522.23
20年10月期	26,818	12,952	48.3	1,601.46

（参考）自己資本　21年10月期第3四半期　12,266百万円　20年10月期　12,952百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	0.00	0.00	0.00	30.00	30.00
21年10月期	0.00	0.00	0.00		
21年10月期（予想）				30.00	30.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年10月期の連結業績予想（平成20年11月1日～平成21年10月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	22.3	685	△32.8	573	△28.1	326	△26.4	40.42

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 3社 (社名 ソイキューブ,マスゼン,肉の太公) 除外 ―社 (社名)

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4.その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年10月期第3四半期	8,800,000株	20年10月期	8,800,000株
② 期末自己株式数	21年10月期第3四半期	742,000株	20年10月期	711,900株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年10月期第3四半期	8,067,169株	20年10月期第3四半期	8,102,945株

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間(平成20年11月1日～平成21年７月31日)のわが国経済は、世界的な金融危機に端を発した金融不安に底入れ感が出ていると報道されているものの、国内経済においては企業収益の大幅な減収等悪化が続き、依然として先行きの不透明感が拭えず、また雇用環境や所得環境は更に厳しさを増し、景気回復の兆しが見えない状況が継続しております。

また、食品業界においては所得の伸び悩みや雇用情勢の悪化などによる生活防衛意識の高まりから個人消費が抑制されるとともに、食の安全を脅かす事件が頻発するなど、消費者の加工食品に対する食の「安全・安心」に対する厳しさが一層増しており、今まで以上に品質管理の強化や環境問題への対応等、企業の社会的責任がますます求められております。

このような状況のもとで、当社グループでは引き続き、お客様に信頼される商品の提供を目指し、当社の強みである「食」のＳＣＭ（製販一体）の部分に注力し、国内外に保有する広大な土地で作物を栽培し、それらを当社グループ内の加工工場などで商品に加工し、流通から販売までを自社で一貫して手掛けることに全社を挙げて取り組んでまいりました。

これらにより、第３四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は93,861百万円、営業利益は320百万円、経常利益は213百万円、四半期純利益は86百万円となりました。

事業の種類別セグメント売上高の概況は次の通りです。

（業務スーパー事業）

当事業の店舗展開につきましては、加盟店様の負担を軽減することが出店の加速につながると考え、新規出店費用の一部を当社で負担し、加盟店様の新規出店意欲の向上に努めた結果、当第３四半期連結累計期間の新規出店数は24店舗、退店7店舗、総店舗数は497店舗となりました。

また当社の強みである製販一体の「製造」部分をさらに強化するため、当社グループ各社が保有する技術・知識・経験を融合させたオンリーワンの商品開発に注力してまいりました。販売体制につきましては、自社輸入商品の一部割戻しを行い加盟店様のバックアップを図るとともに「食卓応援＆爆弾価格」といった値下げ戦略を実施することで、多くのお客様より高いご支持を頂き、売上増加に寄与いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は93,083百万円と順調に推移いたしました。

（神戸クック事業）

当事業に関しましては、日本最大級の大型ビュッフェスタイルレストラン「神戸クックワールドビュッフェ」を全国10店舗で運営しております。当第３四半期につきましては、昨今の消費者の節約志向による内食需要へのシフトに加え、競合他社との競争激化、新型インフルエンザの発生による外食控えが続くなど厳しい環境で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループでは積極的に新メニューの開発を行い集客力の向上に努めるとともにオペレーションの見直しによる運営コストの削減を推し進めてまいりました。

以上の結果から、当第３四半期連結累計期間の売上高は592百万円となりました。

（リラクゼーション・ステイ事業）

当事業に関しましては、2007年11月より「ヴィラ・スピカ」の名称にて宿泊施設を国内４ヵ所で運営してまいりました。当該事業では美容と健康をテーマとしたリラックス空間の提供を追求してまいりましたが、昨今の経済環境の影響による、消費者心理の悪化、コスト削減のための改修工事の発生等販売管理費の増加が収益構造を圧迫し、業績の低迷が続いておりました。

このような状況の下、当第２四半期中に「VILLA SPICA 南島原」を閉鎖し、当第３四半期につきましては収益構造の改善、黒字体質への転換に全社をあげて取り組んでまいりましたが、当第３四半期連結累計期間の売上高は314百万円、営業利益は△216百万円となりました。

今後の方向性について様々な角度から精査した結果、更なる改善及び黒字体質への転換は困難であると判断し、順次施設を閉鎖し平成21年８月24日をもってリラクゼーション・ステイ事業を廃止することを決定いたしました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）資産、負債、純資産の状況

当第３四半期末における総資産は31,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,333百万円増加しました。また、純資産は12,266百万円となり、686百万円減少しました。

資産の増加の主なものは、子会社の有形固定資産取得等による固定資産の増加2,215百万円及び短期借入に伴う現金預金の増加1,476百万円などであります。負債は、前連結会計年度末に比べ5,020百万円増加しておりますが、その主なものは、短期借入金2,000百万円、長期借入金が2,535百万円増加し、また買掛金等が264百万円増加したことによるものであります。

（２）キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、665百万円の収入となりました。これは、主に仕入債務が増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,172百万円の支出となりました。これは、子会社での有形固定資産の取得による支出が主なものとなっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,247百万円の収入となりました。これは、短期借入及び長期借入による収入が主なものとなっております。

以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、前連結会計年度末に比較し、1,319百万円増加し10,460百万円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

昨今の経済情勢の中、食品業界も大きな影響を受けている状況であり、当社としては、加盟いただいております多くの加盟店様を守ることが責務と考え、現在行っているプライベートブランド商品の一部割戻しや出店費用の一部負担など、様々な施策を今後も続けていくことで、現時点では当社の利益を減少させることとなりますが、それらの施策により加盟店様の利益に貢献でき、それがやがて当社の利益につながると考えております。また国内外における棚卸資産の評価損等を売上原価に算入した影響などから、平成21年10月期の通期業績予想につきましては、平成20年12月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

名称	住所	資本金（百万円）	主要な事業内容	議決権の所有割合（%）	関係内容
株式会社ソイキューブ	兵庫県姫路市	10	業務スーパー事業	100	役員の兼任１名 当社向け大豆加工品等の製造等
株式会社マスゼン	栃木県宇都宮市	9	業務スーパー事業	100	役員の兼任２名 当社向けこんにゃく等の製造等
株式会社肉の太公	東京都江戸川区	9	業務スーパー事業	100	役員の兼任２名 当社向け食肉加工品等の製造等

(注)主要な事業の内容欄には、事業の種類別セグメントの名称を記載しております。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

１．当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

２．通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第９号　平成18年７月５日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ323,523千円減少しております。

３．当第１四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号　平成18年５月17日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成21年７月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,697,138	9,220,939
売掛金	6,764,282	6,565,098
商品	3,334,954	3,176,482
製品	114,988	109,398
原材料	156,404	97,953
仕掛品	6,105	5,239
その他	567,215	366,945
貸倒引当金	△47,105	△66,199
流動資産合計	21,593,984	19,475,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,529,672	3,185,631
土地	3,748,264	1,917,323
その他（純額）	1,095,129	891,712
有形固定資産合計	8,373,066	5,994,667
無形固定資産		
のれん	69,500	113,571
その他	284,983	304,345
無形固定資産合計	354,483	417,917
投資その他の資産		
その他	931,935	1,062,800
貸倒引当金	△100,785	△132,352
投資その他の資産合計	831,149	930,447
固定資産合計	9,558,700	7,343,033
資産合計	31,152,685	26,818,892

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成21年７月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年10月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,091,463	9,826,715
短期借入金	2,000,000	－
未払法人税等	195,876	36,876
賞与引当金	23,092	36,520
その他	583,783	646,368
流動負債合計	12,894,216	10,546,480
固定負債		
長期借入金	2,603,958	68,761
退職給付引当金	54,080	48,460
預り保証金	3,307,850	3,175,350
その他	26,427	27,110
固定負債合計	5,992,316	3,319,682
負債合計	18,886,532	13,866,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,000	64,000
資本剰余金	8,323,714	8,323,714
利益剰余金	4,768,453	4,924,501
自己株式	△688,948	△644,134
株主資本合計	12,467,218	12,668,081
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	－	3,743
為替換算調整勘定	△201,066	280,905
評価・換算差額等合計	△201,066	284,649
純資産合計	12,266,152	12,952,730
負債純資産合計	31,152,685	26,818,892

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年11月１日 至　平成21年７月31日）
売上高	93,861,638
売上原価	90,033,690
売上総利益	3,827,948
販売費及び一般管理費	3,507,683
営業利益	320,264
営業外収益	
受取利息	15,292
受取配当金	2,755
受取賃貸料	37,598
デリバティブ評価益	133,276
雑収入	21,305
その他	4,000
営業外収益合計	214,228
営業外費用	
支払利息	12,491
賃貸収入原価	27,474
為替差損	189,002
支払手数料	90,000
その他	1,764
営業外費用合計	320,733
経常利益	213,760
特別利益	
固定資産売却益	1,716
貸倒引当金戻入額	56,313
投資有価証券売却益	29,028
特別利益合計	87,059
特別損失	
固定資産除却損	6,945
その他	34
特別損失合計	6,979
税金等調整前四半期純利益	293,840
法人税、住民税及び事業税	370,945
法人税等調整額	△163,450
法人税等合計	207,495
少数株主損失（△）	△250
四半期純利益	86,595

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （自　平成21年５月１日 至　平成21年７月31日）
売上高	32,004,223
売上原価	30,692,266
売上総利益	1,311,957
販売費及び一般管理費	1,238,186
営業利益	73,770
営業外収益	
受取利息	412
受取配当金	5
受取賃貸料	12,352
デリバティブ評価益	40,605
雑収入	388
営業外収益合計	53,764
営業外費用	
支払利息	7,334
為替差損	20,024
賃貸収入原価	9,138
支払手数料	90,000
その他	1,600
営業外費用合計	128,097
経常損失（△）	△562
特別利益	
貸倒引当金戻入額	7,409
特別利益合計	7,409
特別損失	
固定資産除却損	2,121
その他	34
特別損失合計	2,155
税金等調整前四半期純利益	4,691
法人税、住民税及び事業税	51,656
法人税等調整額	△12,143
法人税等合計	39,513
少数株主損失（△）	△173
四半期純損失（△）	△34,648

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年11月１日 至　平成21年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	293,840
減価償却費	468,499
のれん償却額	34,071
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△50,660
受取利息及び受取配当金	△18,047
支払利息	12,491
為替差損益（△は益）	202,974
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,716
売上債権の増減額（△は増加）	△172,204
たな卸資産の増減額（△は増加）	△281,092
仕入債務の増減額（△は減少）	272,764
預り保証金の増減額（△は減少）	132,500
その他	△26,922
小計	866,498
利息及び配当金の受取額	18,047
利息の支払額	△7,219
法人税等の支払額	△212,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	665,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,298,068
有形固定資産の売却による収入	5,452
投資有価証券の取得による支出	△109,433
投資有価証券の売却による収入	117,878
貸付金の回収による収入	22,395
定期預金の預入による支出	△286,200
定期預金の払戻による収入	143,100
事業譲受による支出	△718,964
その他	△48,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,172,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,000,000
長期借入れによる収入	2,540,000
長期借入金の返済による支出	△4,802
自己株式の取得による支出	△44,814
配当金の支払額	△242,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,247,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△421,154
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,319,508
現金及び現金同等物の期首残高	9,140,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,460,498

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
当第３四半期連結累計期間（自　平成20年11月１日　至　平成21年７月31日）

	業務スーパー事業（千円）	リラクゼーション・ステイ事業（千円）	神戸クック事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	92,954,783	314,408	592,446	93,861,638	―	93,861,638
(2) セグメント間内部売上高又は振替高	128,715	―	―	128,715	△128,715	―
計	93,083,499	314,408	592,446	93,990,354	△128,715	93,861,638
営業利益	1,051,309	△216,060	73,681	908,929	△588,664	320,264

（注）１．事業区分の方法
事業区分は、内部管理上採用している方法によっております。
２．各事業区分の主要な内容

事業区分	主要事業
業務スーパー事業	業務用食品の製造 卸売り（フランチャイズ方式）及び小売業
リラクゼーション・ステイ事業	ヴィラ・スピカ及び併設するカフェ＆ビュッフェ店の運営
神戸クック事業	中食・外食市場の開拓を企画 惣菜小売 カフェ＆ビュッフェ店の展開

〔所在地別セグメント情報〕
当第３四半期連結累計期間（自　平成20年11月１日　至　平成21年７月31日）
本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別のセグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕
当第３四半期連結累計期間（自　平成20年11月１日　至　平成21年７月31日）
海外売上高がないため該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

（１）（要約）四半期連結損益計算書

前第３四半期連結累計期間（平成19年11月１日～平成20年7月31日）

科目	前年同四半期 （平成20年10月期 第３四半期）
	金額（千円）
Ⅰ　売上高	76,734,852
Ⅱ　売上原価	72,568,271
売上総利益	4,166,581
Ⅲ　販売費及び一般管理費	3,493,383
営業利益	673,197
Ⅳ　営業外収益	88,905
Ⅴ　営業外費用	105,364
経常利益	656,738
Ⅵ　特別利益	1,366
Ⅶ　特別損失	8,919
税金等調整前四半期純利益	649,186
法人税、住民税及び事業税	277,127
法人税等調整額	17,616
四半期純利益	354,441

（２）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第３四半期連結累計期間（平成19年11月１日～平成20年7月31日）

	前年同四半期 （平成20年10月期 第３四半期）
区分	金額（千円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	649,186
減価償却費	409,790
のれん償却額	15,142
貸倒引当金の増減額（減少：△）	151,759
賞与引当金の増減額（減少：△）	△28,144
退職給付引当金の増減額（減少：△）	300
受取利息及び受取配当金	△21,454
デリバティブ評価損益	26,054
支払利息	273
有形固定資産除却損	8,919
売上債権の増減額（増加：△）	△2,864,772
たな卸資産の増減額（増加：△）	△96,438
その他流動資産の増減額（増加：△）	△596,504
仕入債務の増減額（減少：△）	2,692,765
その他流動負債の増減額（減少：△）	461,788
預り保証金の増減額（減少：△）	40,150
その他	△648
小計	848,169
利息及び配当金の受取額	21,454
利息の支払額	△273
法人税等の支払額	△565,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	303,969
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△226,750
連結範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入	392,769
有形固定資産の取得による収入	△1,194,850
無形固定資産の取得による支出	△101,910
投資有価証券の取得による支出	△103,757
貸付による支出	△330,000
貸付金の回収による収入	46,723
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,517,763
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金増(減)	△10,400
長期借入の返済による支出	△90,802
自己株式の取得による支出	△45,186
配当金の支払額	△243,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△390,081
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,521
Ⅴ　現金及び現金同等物の増加額（又は減少額）	△1,608,397
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	11,088,849
Ⅶ　現金及び現金同等物の四半期末残高	9,480,451